

## 第470回白石市議会定例会 一般質問一覧表

質問 順位	議席 番号	会派名 議員名	質問事項	答弁を 求める者
1	11番	新風未来の会 大内 卓也	1. 太陽光発電施設の建設について 2. (仮称)道の駅しろいしおよび防災公園について	市長
2	12番	新風未来の会 佐久間 順子	1. 高齢者や障害者の投票率向上について 2. 婦人防火クラブの在り方について	市長
3	13番	村上 由紀	1. 公立刈田総合病院の周産期医療提供体制について 2. 本市の妊産婦助成制度(経済的支援)について 3. 本市妊産婦の方への伴走型相談支援の取り組みについて	市長
4	10番	角張 大治	1. 保険事業の負担と受益およびその周知について	市長
5	6番	公明党 大森 貴之	1. 聴覚情報処理障害(APD)に対する本市の対応について	市長 教育長
6	1番	日本共産党 佐藤 龍彦	1. 本市の投票環境および投票率の向上対策について 2. 本市の子どもの貧困および子育て支援について	市長 教育長
7	15番	新風未来の会 佐藤 秀行	1. 運動施設の設備等について	市長
8	8番	新風未来の会 四竈 英夫	1. 児童・生徒のいじめ・問題行動・不登校について	教育長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

## 【質問事項】 1. 太陽光発電施設の建設について

### 【質問項目】

- (1) 増え続ける太陽光発電施設に関しての本市の考えを問う。
- (2) 抑制する区域の指定方法を問う。
- (3) 指定の前に各自治会との意見交換は設けているかを問う。
- (4) 設置してある自治会と事業者の関係は良好かを問う。
- (5) 現在までにトラブルの発生はなかったかを問う。
- (6) 太陽光を設置することによる本市・市民への恩恵はあるか。

### 【質問要旨】

第468回定例会におきましても同僚議員から一般質問がありましたが、私が住む白川地区でも太陽光発電施設建設計画の話が進んでおりましたので改めて質問させていただきます。

#### 【白川地区の現状】

- ・事業者と地権者との間ではほぼ合意が取れている。
- ・しかし一部地域住民の耳にしか届いていない。
- ・先日まで自治会長も知らなかった状況で話が進んでおり、不信感を抱く住民もいる。
- ・事業者からの地域住民説明会は来年1月に実施予定

#### (1) 増え続ける太陽光発電施設に関しての本市の考え

以前、地域の脱炭素化・カーボンニュートラルの実現と答弁がありましたが、本市のどの分野が炭素を使用していて、他の地域へ電力が売られている太陽光発電が本市の炭素化されている事業に対してどのように関連しているかも踏まえてお聞きしたいです。

#### (2) 抑制する区域の指定方法

#### (3) 指定の前に各自治会との意見交換は設けているか

市と事業者間だけで決定をし、自治会へ意見を求めるではトラブルを招くことが想定されます。これまでの話の進め方も踏まえましてお聞かせください。

#### (4) 設置してある自治会と事業者の関係は良好か

#### (5) 現在までにトラブルの発生はなかったか

#### (6) 太陽光を設置することによる本市・市民への恩恵はあるか

事業者から得た固定資産税を市民の電気代の補填に充てるなど検討されているかも踏まえて伺います。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

## 【質問事項】 2. (仮称)道の駅しろいしおよび防災公園について

### 【質問項目】

- (1) 訴状について
  - ① 訴状は届いたのかを問う。
  - ② その内容を伺う。
  - ③ 内容を確認してからの当局の見解を伺う。
- (2) 市内業者への下請けについて
- (3) おもしろいし市場との兼ね合いについて

### 【質問要旨】

(仮称)道の駅しろいし整備事業が前回の定例会において可決されましたが、事業者選定にあたり提訴されたという話がありました。前回の定例会期間中に訴状は届いていなかったとのことでしたので、その後の状況等に関して伺います。

- (1) 訴状について
  - ① 訴状は届いたのかを問う。
  - ② その内容を伺う。
    - ・ 可能な範囲でお願いいたします。
  - ③ 内容を確認してからの当局の見解について伺う。
- (2) 市内業者への下請けについて  
代表企業、構成企業へ下請け業者として本市の企業を優先的に活用してもらおうようお願いするとの事だったと思いますが、市から代表企業、構成企業への周知方法はどのように実施するのかを伺います。
- (3) おもしろいし市場との兼ね合い  
代表企業とおもしろいし市場指定管理者は同一企業であるが、道の駅完成後はどのような体制で両施設を運営していくのかを伺います。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 28 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	12 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 高齢者や障害者の投票率向上について

【質問項目】

- (1) 高齢者や障害者に配慮した期日前投票所の設置場所について
- (2) 投票所等への移動支援について
- (3) 郵便投票の対象者について
- (4) 郵便投票の対象者の拡大について
- (5) 障害者の投票支援について

【質問要旨】

- (1) 高齢者や障害者に配慮した期日前投票所の設置場所について、検討したことはあるか。
- (2) 投票所等への移動支援は実施しているのか伺う。
- (3) 在宅投票について郵便投票があるが、本市ではどのような方が対象となるのか伺う。
- (4) 平成29年6月、総務省「投票環境の向上方策等に関する研究会報告」概要の「現状と課題」では、郵便等投票について要介護5としている対象者を拡大してほしいとの要望があると記載されている。検証結果によると、要介護4は物理的に投票所まで行くことが困難な類型、要介護3は寝たきりに近い者から必ずしも寝たきりではない者まで幅があるが、何らかの形で郵便等投票の対象とする方向で一歩踏み出していくことが大事と考えられるが、このことについてどのような考えか伺う。
- (5) 障害者支援を目的に、話し言葉によるコミュニケーションが困難な方と意思疎通を図るためのツールとして、コミュニケーションボードがあるが、本市でも取り入れてはいかかがか伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 28 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	12 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

## 【質問事項】 2. 婦人防火クラブの在り方について

### 【質問項目】

- (1) 婦人防火クラブの現在の数について
- (2) 婦人防火クラブの活動について
- (3) 婦人防火クラブの廃止について
- (4) 婦人防火クラブの名称について
- (5) 活動時に着用する割烹着について
- (6) 自主防災組織や消防団との統合について

### 【質問要旨】

- (1) 昨今、全国的にクラブが解散される中、本市ではいくつのクラブが存在しているのか伺う。
- (2) 定期的に活動はされているのか伺う。
- (3) 廃止の声はないのか伺う。
- (4) 「婦人防火クラブ」の名称は「女性防火クラブ」に変更している地区もあるが、本市においても名称を変更する考えはあるのか伺う。
- (5) 活動時に会員が着用する割烹着は、個人で用意しているが、地区により普段着用しているエプロンでも可能としている地区もある。統一してはいかがか伺う。
- (6) 年々、参加者が少なくなり活動を自粛したまま毎年同じ方が役員を継続せざるを得ないとの声がある。地域の防災ニーズも変化してきている中、人的資源や資金、情報共有の効率化、活動の透明性を図るため、自主防災組織や消防団と統合してみるのはいかがか伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 28 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	13 番 村上 由紀
会派名	

【質問事項】 1. 公立刈田総合病院の周産期医療提供体制について

## 【質問項目】

- (1) 公立刈田総合病院の周産期医療提供体制の現状を伺う。
- (2) 麻酔科の医療提供体制の現状と今後の体制の見通しを伺う。
- (3) 小児科の医療提供体制の現状と今後の体制の見通しを伺う。
- (4) 妊婦健診を行っていない理由を伺う。
- (5) 公立刈田総合病院周産期医療提供体制構築の見通しを伺う。

## 【質問要旨】

- (1) 公立刈田総合病院の周産期医療体制の現状を伺う。
- (2) 周産期医療構築のためには、関係診療科の体制も整えなければならない。このことから、麻酔科の常勤医の有無と人数、夜間・休日の救急にも対応しているか伺う。併せて、今後の医療提供体制を伺う。
- (3) 小児科の常勤医の人数、日曜日の診療内容、入院患者の受け入れ体制、新生児専門ナースの配置状況等、また、今後の医療提供体制を伺う。
- (4) 現在、公立刈田総合病院では、婦人科のみの医療提供体制で、妊婦健診は行っていない状況である。妊婦健診を行わない理由について伺う。
- (5) 第466回定例会において、小児科医松田先生を正職員として採用し、看護師の指導、採用を進めていると聞いており、指定管理者において、まずは刈田病院の小児科の充実を図り、同時に産婦人科医の採用を進めていっている段階ということで、着々と刈田病院としてお産ができる病院復活に向けて今ステップアップしている状況だと思っているとの市長の答弁でした。一年経過し、周産期医療構築についての進捗状況と今後の具体的なスケジュールをお示しください。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 28 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	13 番 村上 由紀
会派名	

【質問事項】 2. 本市の妊産婦助成制度（経済的支援）について

【質問項目】

- (1) 出産・子育て応援給付金実績と令和7年度制度改正について
- (2) リスクがある妊婦に対しての妊婦健診の助成について
- (3) 妊産婦健診の交通費の助成について

【質問要旨】

- (1) 実績（件数と金額）と、R7年度制度改正後の詳細を伺う。
- (2) 妊婦健診の助成券14回分を交付しているが（多胎妊娠は7回分を追加で交付）リスク（妊娠高血圧症候群や糖尿病など）がある妊婦への健診回数が増えた分の助成はあるか伺う。
- (3) 周産期医療提供体制が構築されるまでの間、本市の妊婦は、市外または福島県などの県外の医療機関での妊婦健診出産を余儀なくされます。同じような状況の自治体の中には、妊婦への経済的負担を解消し、安心して妊娠出産を迎えていただけるよう、出産子育て応援給付金に加え、妊産婦健診の交通費、入院や分娩待機のための宿泊費の補助を自治体独自の施策で行っているところがあります。物価やガソリン代が高騰している情勢の中で、本市でも取り組むべきことと考えるが見解を伺う。（他自治体例：妊婦健診の交通費3万円、乳児検診産婦健診の交通費2万円）

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6年 11月 28日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	13 番 村上 由紀
会派名	

【質問事項】 3. 本市妊産婦の方への伴走型相談支援の取り組みについて

## 【質問項目】

- (1)本市の妊産婦へのメンタルヘルス・産後うつ対策を伺う。
- (2)家庭相談センターへの妊産婦の相談件数と内容を伺う。
- (3)本市の産後ケア事業の詳細と実績、周知方法を伺う。
- (4)令和7年度から始まる妊婦等包括相談支援事業について
- (5)白石市独自の妊産婦への支援施策を講じる必要性について

## 【質問要旨】

- (1)本市の妊産婦へのメンタルヘルス・産後うつ対策を伺う。
- (2)家庭相談センターへの妊産婦の方からの相談件数と主な相談内容を伺う。
- (3)事業の詳細については、利用対象者、利用サービスの種別、利用申し込み方法、利用可能施設、利用料金等を含め伺う。また、実績と周知方法を伺う。
- (4)R7年度から始まる妊婦等包括相談支援事業について、本市の取り組みを伺う。
- (5)本市の市政課題でもある急速な少子高齢化と人口減少について、周産期医療提供体制が構築されていないことが一因としてあると第467回定例会で市長が答弁されており、体制が整うまでに、ますます少子高齢化が進んでしまうと懸念されます。そのペースを緩やかにするためにも、今後、妊産婦への経済的支援、伴走型相談支援は間違いなく重要度を増すと考えます。「選択と集中の時代」とも言われる現代、限られた財源をどこに集中させるかが持続可能な白石市を作り上げるポイントになると考えます。このことから、白石市で安心して子どもを産み育てるために、白石市独自の妊産婦への経済的な支援施策等を講じる必要があると思うのですが、市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 28 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	10 番 角張 大治
会派名	

【質問事項】 1. 保険事業の負担と受益およびその周知について

【質問項目】

- (1)生活習慣病に関連する医療費の割合と推移について
- (2)生活習慣病未然防止に伴う医療費の削減効果について
- (3)医療費削減と国保税への影響・社会保険料への波及について
- (4)生活習慣病予防のための市の取組状況について
- (5)11月開催の国民健康保険運営協議会について
- (6)市民への制度理解と行動変容の促進について
- (7)第2次白石市健康プラン21の取り組みについて
- (8)医療費削減等の計画と今後の取り組みについて

【質問要旨】

- (1)市内での生活習慣病に関連する医療費は全体のどの程度を占めているか、また近年の推移について伺う。
- (2)生活習慣病が未然に防がれた場合、医療費削減効果がどの程度あると考えているか伺う。
- (3)医療費削減が実現した場合、国民健康保険税や社会保険料への直接的・間接的な税率維持や減額につながる可能性についての認識を伺う。
- (4)生活習慣病予防に向けて、現在どのような取り組みを行っているか。特定健診や保健指導の実施率、成果などについて伺う。
- (5)11月開催の国民健康保険運営協議会の諮問案件及びその後の状況について伺う。
- (6)国民健康保険税と医療費削減・生活習慣病予防の関連性・重要性について、市民の理解を深めるための一体的な取り組みについて伺う。
- (7)第2次白石市健康プラン21に即した事業の取組状況について伺う。
- (8)医療費削減や市民負担軽減を目指し、市民1人1人の意識・行動を変え、生活習慣病の予防につなげることで、その結果として国民健康保険財政や社会保険財政の1人1人の負担を増やすことなく保険事業の維持につながり、ひいては現役世代の負担の軽減につなげることが正に保健事業の要諦と考えます。見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 29 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	6 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 1. 聴覚情報処理障害 (APD) に対する本市の対応について

## 【質問項目】

- (1) APD についてどのように認識されているのかを伺う。
- (2) APD 診断のための専門機関 (大学病院等) との連携について
- (3) APD 該当者に対する補聴支援機器等の支援策はあるか。
- (4) 大阪府高槻市などの補聴器貸与について見解を伺う。
- (5) APD 児童・生徒に対する教育現場での支援策はあるか。
- (6) 白石きぼう学園では APD の児童・生徒受け入れが可能かを伺う。
- (7) APD 支援の拡充を率先して実施してはどうか。

## 【質問要旨】

日本における APD (聴覚情報処理障害) には、これまで明確な定義も診断基準も無かった。聞き取りづらさを感じているのに健康診断や病院での聴力検査で異常が認められない為本人の気のせいや努力不足などの言葉で片付けられ、周囲の理解も得られず不自由を強いられてこられた方々が多くおられる。APD に対応している医療機関も少なく、必要とする適切な配慮を受けられずに困っている方々がいる。APD の方は障害者手帳の交付を受けられ無い為、補聴支援機器等購入時の公的支援を受けられない。認知度が低い為、診断自体を受けることができない人もいる。本市では本年 10 月より、こども家庭庁「母子保健医療対策総合支援事業」実施要望に基づき 5 歳児健康診査がおこなわれているが、この中で APD 診断が行えないものか。APD の診断を受けた児童生徒に対する支援について市及び教育現場での対応を伺う。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

# 一般質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	1 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 1. 本市の投票環境および投票率の向上対策について

## 【質問項目】

- (1)投票所について、市民から寄せられた意見等を伺う。
- (2)意見や要望を受け、対応したことはあったかを伺う。
- (3)10月の選挙におけるホワイトキューブの駐車環境について
- (4)ホワイトキューブの投票案内の充実について
- (5)今年行われた2つの選挙結果のHP掲載予定日を伺う。
- (6)移動投票所の導入は考えられないかを伺う。
- (7)今後の投票率向上への啓発活動について

## 【質問要旨】

先日、市民から高齢となり、投票に行くことが困難となってきたとの声が寄せられました。また、ホワイトキューブで投票された方からは、当日はイベントと重なり、駐車場が満車となっていて、投票するのが大変だったことや投票場所への順路も示して欲しいとの声も寄せられました。そうした中、山形県尾花沢市では、山間部の集落向けにワゴン車を改装した移動投票所を導入したことが報道されていました。そこで、本市の投票環境の改善と投票率向上について伺います。

- (1)10月実施の選挙において、投票所となっている施設について、市民から寄せられた意見や要望を伺う。
- (2)意見や要望を受けて、対応した事例はあるのか伺う。
- (3)今回の選挙において、ホワイトキューブの駐車場の確保状況（台数）について伺う。
- (4)ホワイトキューブにおいて、投票場所の順路を示すなど、対策が必要ではないかと考えるが見解を伺う。
- (5)今回の選挙結果はいつHPに掲載する予定なのか伺う。
- (6)投票率向上のため、移動投票所の導入は考えられないか伺う。
- (7)今後の投票率向上への啓発活動について伺う。

【答弁を求める者】 市長

## 一般質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	1 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 2. 本市の子どもの貧困および子育て支援について

### 【質問項目】

- (1) 昨今の子どもの貧困についての認識を伺う。
- (2) 本市の就学援助受給者の推移（過去3年分）を伺う。
- (3) 就学援助申請が認められなかった件数を伺う。
- (4) 就学援助について市のHPを充実させる考えはあるか。
- (5) 学校給食費を据え置いた場合の試算額を伺う。
- (6) 来年度の学校給食費の見通しを伺う。

### 【質問要旨】

2020年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、本市において、子どもの貧困の現状についてお聞きするとともに、小中学校の児童・生徒の保護者の皆さんから、来年度の学校給食費について、どのようになるのかとの声も寄せられたことから質問いたします。

- (1) 本市は昨今の子どもの貧困について、どのように認識されているのか伺う。
- (2) 本市の就学援助の受給者数（割合）の推移について伺う。（過去3年分）
- (3) 就学援助の申請が認められなかったケースはどれくらいあったのか伺う。（過去3年分）
- (4) 本市の就学援助制度を分かりやすく周知するためにも、市のHPをさらに充実させる（所得の基準額やモデルとなる世帯の例など）考えはないのか伺う。
- (5) 本市、学校給食費を今年度同様に据え置いた場合の試算額を伺う。
- (6) 来年度の学校給食費の見通しについて、現時点での見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

## 一般質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	15 番 佐藤 秀行
会派名	新風未来の会

### 【質問事項】 1. 運動施設の設備等について

#### 【質問項目】

- (1) 益岡公園野球場のネーミングライツ、企業広告について
- (2) バックスクリーン、電光掲示板の設置について
- (3) ナイター施設の照度、使用料金について
- (4) 駐車場のトイレの洋式化、トイレの新設について
- (5) 旧テニスコートのマウンドの設置について
- (6) 白石川サッカー公園の芝生交換について
- (7) 白石川緑地野球場の舗装工事の延長について
- (8) 屋外各運動施設の維持・管理について

#### 【質問要旨】

- (1) 広告看板等の設置について、その後の検討経過について、改めて伺う。
- (2) ネーミングライツ、企業広告などの収入等を原資として、設置に向けて前向きに取り組んでいくというお考えはないのか伺う。
- (3) ナイター料金は、使用する市民にとって高額であると感じる。合わせて照明が以前と比べて暗くなったと感じる。再度使用料について検討してはどうかと考える。また照度についての見解も伺う。
- (4) 益岡公園野球場駐車場のトイレの洋式化を進めるべきと考える。また球場利用者の状況を考えれば、旧テニスコート脇にトイレの新設も考えられる。合わせて見解を伺う。
- (5) 旧テニスコート内に、不足し、要望のあるピッチャーの練習マウンドの設置も必要かと考える。見解を伺う。
- (6) 白石川サッカー公園の、経年劣化している芝生の交換が必要ではないかと考える。見解を伺う。
- (7) 白石川緑地野球場の通路部分で、まだ未舗装になっている箇所が一部あり、引き続き舗装にしていればさらに利用者の利便性を図ることができると考える。見解を伺う。
- (8) 屋外運動施設の維持・管理について、特に草刈りについて、どのように対応されているか伺う。

【答弁を求める者】 市長

## 一般質問通告書

令和 6 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	8 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 児童・生徒のいじめ・問題行動・不登校について

### 【質問項目】

- (1)本市小中学校のいじめ、問題行動、不登校はあるかを伺う。
- (2)あるとすればその実態を伺う。
- (3)それらは何が原因で起きているか把握しているかを伺う。
- (4)それらに対する学校、教育委員会の対応についてを伺う。
- (5)保護者に対してどのような対応をしているかを伺う。
- (6)それらを防ぐためにどのような対策を講じているかを伺う。

### 【質問要旨】

文部科学省が公表した2023年度の児童生徒問題行動・不登校調査によれば、全国の小中学校で年間30日以上欠席した不登校の児童・生徒は11年連続で増加し、34万6,482人とこれまでの最多を更新したとのこと。不登校の理由は、学校生活にやる気が出ないことや、不安・抑うつなどが上げられています。また、いじめの認知数は小学校が58万8千件余り、中学校が12万2千件余り、高校が1万7千件余りとなり、重大事態である自殺者は397人であったとのこと。

宮城県は1,000人当りの不登校生徒数が全国最多となり、暴力行為の発生件数も全国で2番目に多かったことが報じられています。

このように県内でも増えている不登校、いじめ、暴力行為等について本市における実態はどうか懸念されます。児童・生徒の健やかな成長と学力の向上を図るためどのような教育方針に基づき行われているのか伺います。

【答弁を求める者】 教育長